吉備高原学園高等学校

調査書作成上の注意（令和９年度入試用）

【紙媒体で提出する場合】

1 最初に確認すること

以下の内容は、調査書を紙媒体で提出する場合の説明となります。Web 調査書の作成については「出身中学校専用サイトご利用の手引き」をご確認ください。

項目	取扱
様式	・本校 Web サイト（出願準備サイト）から所定様式をダウンロード （岡山県立高校入学者選抜と同じ様式）
作成・印刷	・Word／Excel 様式を基に作成（プリンタ出力または複写で可） ・A4 判・縦で印刷する ・手書き、PC 入力のどちらでも可
提出方法	・中学校長の公印は不要 ・厳封し、入学願書（紙媒体）に添付して提出 ※Web 調査書の作成については「出身中学校専用サイトご利用の手引き」をご確認ください。
再受験	複数回受験の場合、２回目以降は１回目の調査書のコピーで可

2 卒業時期に応じた様式の選択

中学校卒業の時期によって、調査書の様式や記入上の注意が異なりますので、ご注意ください。

卒業時期	様式
令和９年３月の卒業見込者	「令和９年３月卒業見込者、令和４年３月以降の卒業者用　様式」の調査書を使用
令和４年３月以降の卒業者	
令和３年３月以前の卒業者	「令和３年３月以前の卒業者用　様式」の調査書を使用

3 各欄記入上の注意　【令和９年3月卒業見込者、令和4年3月以降の卒業者】

各欄の記入にあたっては、以下の(1)～(9)をご確認ください。

(1)	・組番：原則として各学級の出席簿のとおりとする。 ・性別：男女のいずれかを記入する。
(2)	**「卒業後の動向」** 欄に斜線を引く。（令和４年３月以降の卒業者は、「○○会社勤務」、「家事従事」、「○○高等学校第○学年退学」等、中学校等卒業後の動向を具体的に記入する。）
(3)	**「学習の記録」** ・第１学年、第２学年の評定については、各教科とも、中学校生徒指導要録（以下「指導要録」という。）に記入してある５段階評定を転記する。 ・第３学年の評定については、各教科とも、指導要録に記入する仕方によって、目標に準拠した評価による５段階評定を記入する。なお、特別支援学級在籍者については、学級の実態に応じて記入する。（令和４年３月以降の卒業者は、指導要録に記入してある５段階評定等を朱書する。） ・「記述による評定」（文章記述）等、５段階による評価をしていない場合や、欠席が多いことなどで評価できない場合は、特記事項の欄へその旨を記載してください。「調査書別紙」や「副申書」の提出は任意ですが、詳細を記載して提出する場合は、Ａ４サイズ（様式は問わない）で作成し、添付してください。 ・「第３学年での観点別学習状況の評価」欄については、後のページの表に示す観点ごとに指導要録に記入する仕方によって、Ａ、Ｂ、Ｃの評価を記入する。（令和４年３月以降の卒業者は、指導要録に記入してある「観点別学習状況」を転記する。）

(3)	**「学習の記録」** ・「特記事項」欄について ◇特別に記入を要する事項（例えば、病気、けが等により評定に著しく変動のあった場合）があればその状況について記入する。特別に記入を要する事項が無い場合は、「特記事項なし」と記入する。 ◇特別支援学級の在籍生徒等について、通常学級とは異なる特別支援学級独自の基準による評定である教科がある場合は、その旨を明記し、優れた特徴などがあれば、記入する。 ・「総合的な学習の時間の記録」欄について ◇「学習活動」欄に、この時間に行った学習活動、取組の内容（テーマ等）を記入し、「評価」欄に、生徒の学習状況における顕著な事項や生徒にどのような力が身に付いたかなどを記入する。（令和４年３月以降の卒業者は、指導要録に基づいて記入する。）
(4)	**「特別活動の記録」** ・第１学年、第２学年については、指導要録に記入してある「特別活動の記録」を転記し、第３学年については、指導要録の記入の仕方によって記入する。（令和４年３月以降の卒業者は、第３学年についても、指導要録に記入してある「特別活動の記録」を転記する。） ・「委員等」欄については、各学年における主な係名や委員名及び学校行事における役割を記入する。
(5)	**「行動の記録」** ・第１学年、第２学年については、指導要録に記入してある「行動の記録」を転記し、第３学年については、指導要録の記入の仕方によって記入する。（令和４年３月以降の卒業者は、指導要録に記入してある「行動の記録」を転記する。）
(6)	**「出欠の記録」** ・第１学年、第２学年については、指導要録に記入してある「欠席日数」を転記し、第３学年については、**１２月末現在（または調査書作成日まで）**で記入する。（令和４年３月以降の卒業者は、第３学年についても、指導要録に記入してある「欠席日数」を転記する。） ・「主な欠席理由」欄には、各学年で、欠席日数 15 日以上又は連続して６日以上の場合は、必ずその主な理由を記入する。ただし、出席停止、忌引き等の日数は、欠席日数に含めない。
(7)	**「新体力テストの記録」** ・第３学年において実施したものを記入する。 ・実施していない場合（欠席等により受けていない場合を含む）や、一部種目を欠いて実施している場合は、「総合評価」欄に斜線を引き、その理由を「備考」欄に記入する。
(8)	**「総合所見及び参考となる事項」** ・部活動の所属部名及び主な活動状況、特別活動に関する事実及び所見、行動に関する所見、校外における活動状況（ボランティア活動、文化・スポーツ活動等）など生徒の成長の状況を記入する。 ・特に入学者選抜の資料として高等学校が知っておく必要があると考えられる事項（検査、調査、観察等を通して見られた生徒の適性、特技等）を記入する。 ※欄内に書ききれない場合は、「調査書別紙」や「副申書」（Ａ４サイズとし、様式は問わない）の添付でもかまいません。特に、身体の状況として、学校（特に寮生活）にて留意すべきことがあれば記載してください。
(9)	**その他の注意事項** ・「※」欄は記入しない。 ・義務教育学校は、第７・８・９学年をそれぞれ第１・２・３学年として読み替える。 ・文部科学大臣が中学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設からの志願者の調査書は、(1)～(9)の各項目に準じて作成する。

4　各欄記入上の注意　【令和3年3月以前の卒業者】

各欄の記入にあたっては、以下の(1)～(9)をご確認ください。

(1)	・組番：原則として各学級の出席簿のとおりとする。 ・性別：男女のいずれかを記入する。
(2)	**「卒業後の動向」** ・「○○会社勤務」、「家事従事」、「○○高等学校第○学年退学」等、中学校等卒業後の動向を具体的に記入する。
(3)	**「学習の記録」** ・第１学年、第２学年の評定については、各教科とも、中学校生徒指導要録（以下「指導要録」という。）に記入してある５段階評定を転記する。 ・第３学年の評定については、指導要録に記入してある５段階評定等を朱書する。 ・「記述による評定」（文章記述）等、５段階による評価をしていない場合や、欠席が多いことなどで評価できない場合は、特記事項の欄へその旨を記載してください。「調査書別紙」や「副申書」の提出は任意ですが、詳細を記載して提出する場合は、Ａ４サイズ（様式は問わない）で作成し、添付してください。 ・特別支援学級在籍者については、学級の実態に応じて記入する。 ・「第３学年での観点別学習状況の評価」欄については、後のページの表に示す観点ごとに指導要録に記入してある「観点別学習状況」を転記する。 ・「特記事項」欄について ◇特別に記入を要する事項（例えば、病気、けが等により評定に著しく変動のあった場合）があればその状況について記入する。特別に記入を要する事項が無い場合は、「特記事項なし」と記入する。 ◇特別支援学級の在籍生徒等について、通常学級とは異なる特別支援学級独自の基準による評定である教科がある場合は、その旨を明記し、優れた特徴などがあれば、記入する。 ・「総合的な学習の時間の記録」欄については、指導要録に基づいて記入する。
(4)	**「特別活動の記録」** ・指導要録に記入してある「特別活動の記録」を転記する。 ・「委員等」欄については、各学年における主な係名や委員名及び学校行事における役割を記入する。
(5)	**「行動の記録」** ・指導要録に記入してある「行動の記録」を転記する。
(6)	**「出欠の記録」** ・指導要録に記入してある「欠席日数」を転記する。 ・「主な欠席理由」欄には、各学年で、欠席日数 15 日以上又は連続して６日以上の場合は、必ずその主な理由を記入する。ただし、出席停止、忌引き等の日数は、欠席日数に含めない。
(7)	**「新体力テストの記録」** ・第３学年において実施したものを記入する。 ・実施していない場合（欠席等により受けていない場合を含む）や、一部種目を欠いて実施している場合は、「総合評価」欄に斜線を引き、その理由を「備考」欄に記入する。
(8)	**「総合所見及び参考となる事項」** ・部活動の所属部名及び主な活動状況、特別活動に関する事実及び所見、行動に関する所見、校外における活動状況（ボランティア活動、文化・スポーツ活動等）など生徒の成長の状況を記入する。 ・特に入学者選抜の資料として高等学校が知っておく必要があると考えられる事項（検査、調査、観察等を通して見られた生徒の適性、特技等）を記入する。

(8)	**「総合所見及び参考となる事項」** ・当初参加が決定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大を防止するため中止、延期となった大会や行事等についても記入する。 ※欄内に書ききれない場合は、「調査書別紙」や「副申書」（Ａ４サイズとし、様式は問わない）の添付でもかまいません。特に、身体の状況として、学校（特に寮生活）にて留意すべきことがあれば記載してください。
(9)	**その他の注意事項** ・「※」欄は記入しない。 ・義務教育学校は、第７・８・９学年をそれぞれ第１・２・３学年として読み替える。 ・文部科学大臣が中学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設からの志願者の調査書は、(1)～(9)の各項目に準じて作成する。

次ページに、『（参考）観点別学習状況における各教科の評価の観点 』があります

（参考）観点別学習状況における各教科の評価の観点

	令和9年3月卒業見込者、 令和8年3月～令和4年3月卒業者	
教科	観点	
国語	Ⅰ	知識・技能
	Ⅱ	思考・判断・表現
	Ⅲ	主体的に取り組む態度
社会	Ⅰ	知識・技能
	Ⅱ	思考・判断・表現
	Ⅲ	主体的に取り組む態度
数学	Ⅰ	知識・技能
	Ⅱ	思考・判断・表現
	Ⅲ	主体的に取り組む態度
理科	Ⅰ	知識・技能
	Ⅱ	思考・判断・表現
	Ⅲ	主体的に取り組む態度
音楽	Ⅰ	知識・技能
	Ⅱ	思考・判断・表現
	Ⅲ	主体的に取り組む態度
美術	Ⅰ	知識・技能
	Ⅱ	思考・判断・表現
	Ⅲ	主体的に取り組む態度
保健体育	Ⅰ	知識・技能
	Ⅱ	思考・判断・表現
	Ⅲ	主体的に取り組む態度
技術・家庭	Ⅰ	知識・技能
	Ⅱ	思考・判断・表現
	Ⅲ	主体的に取り組む態度
外国語	Ⅰ	知識・技能
	Ⅱ	思考・判断・表現
	Ⅲ	主体的に取り組む態度

令和3年3月以前の卒業者	
観点	
Ⅰ	国語への関心・意欲・態度
Ⅱ	話す・聞く能力
Ⅲ	書く能力
Ⅳ	読む能力
Ⅴ	言語についての知識・理解・技能
Ⅰ	社会的事象への関心・意欲・態度
Ⅱ	社会的な思考・判断・表現
Ⅲ	資料活用の技能
Ⅳ	社会的事象についての知識・理解
Ⅰ	数学への関心・意欲・態度
Ⅱ	数学的な見方や考え方
Ⅲ	数学的な技能
Ⅳ	数量や図形などについての知識・理解
Ⅰ	自然事象への関心・意欲・態度
Ⅱ	科学的な思考・表現
Ⅲ	観察・実験の技能
Ⅳ	自然事象についての知識・理解
Ⅰ	音楽への関心・意欲・態度
Ⅱ	音楽表現の創意工夫
Ⅲ	音楽表現の技能
Ⅳ	鑑賞の能力
Ⅰ	美術への関心・意欲・態度
Ⅱ	発想や構想の能力
Ⅲ	創造的な技能
Ⅳ	鑑賞の能力
Ⅰ	運動や健康・安全への関心・意欲・態度
Ⅱ	運動や健康・安全についての思考・判断
Ⅲ	運動の技能
Ⅳ	運動や健康・安全についての知識・理解
Ⅰ	生活や技術への関心・意欲・態度
Ⅱ	生活を工夫し創造する能力
Ⅲ	生活の技能
Ⅳ	生活や技術についての知識・理解
Ⅰ	コミュニケーションへの関心・意欲・態度
Ⅱ	外国語表現の能力
Ⅲ	外国語理解の能力
Ⅳ	言語や文化についての知識・理解